



ももとせ

第422号
29年度11月
中野区立桃園小学校



「秋の深まりとともに」

校長 田中 憲治

北から順に紅葉のたよりが届くようになってきましたが、台風の後には、秋が急に深まってきたようです。

先日の「ももそのまつり」では、祭りとしては初めての雨天ということでしたが、体育館・あおぎり館での開催には多くの方のご協力で盛大に行うことができ、子供たちも大変喜んでいました。PTA・桃友会・同窓会・町会・弥生地区の皆様・向台小おやじの会・ボランティアでの参加をしていただいた第十中・第二中の生徒さん方に感謝いたします。本校からはブラスバンド部の児童による演奏を楽しんでいただきました。このももそのまつりも、再編統合による閉校で後1回となりました。地域の方の強い思いを感じさせる行事となりました。

また、スポーツの秋ということで、10月に「特別支援学級の連合運動会」「6年生の連合運動会」が開催されました。特別支援学級の連合運動会は、特別支援学級設置校である小学校6校と中学校3校が中野体育館に一堂に会しました。本校では、ひまわり学級の児童が参加し、短距離走や表現運動、リレーと日頃の成果を十分に出し切ることができました。6年生の第61回連合運動会は雨天で1日順延しましたが、当日は晴天の中、向台小学校で行われました。向台小学校、桃花小学校、桃園小学校の3校の児童で、個人100m走、全体競技大縄跳び、男女別学校対抗リレーを行いました。100m走では、競い合うことで今までの記録を伸ばす子が多くいました。大縄跳びでは、5クラスの合計で3分間1000回を目標に跳び、見事にクリアしました。リレーでは、桃園小学校は女子1位：2分42秒3（昨年より5秒短縮）、男子2位：2分36秒3（昨年より5秒4短縮）でした。

さて、11月には本校最後の展覧会が開催されます。ご案内が配布されたところですが、開催まであと1週間となり、作品がほぼでき上がり展示を待つばかりとなりました。最後ということで、過去の歴史を調べてみたのですが、展覧会については、いつ頃からあるのか分かりませんでした。昭和50年には、区連合作品展に出品したことが記録にあります。昭和51年には、100周年を記念して、創造の世界—児童作品展—開催とあります。一白亜の校舎にゆめがいっぱい—がその時の合い言葉だったようです。きっと戦後落ち着いた頃から、児童作品展として開催されてきたのだと考えられます。

今年の展覧会のテーマは「色と形に思いを込めて」です。様々な題材に関心を持ち、どのように表現したいか一人一人が明確に思いをもって、様々な工夫をしながら、思いを実現する作品づくりに取り組むことによって、桃園小学校最後の展覧会を心に残るようにならせたという願いを込めて指導をしてまいりました。各学年・ひまわり学級とも平面・立体・共同作品、高学年は家庭科の作品を展示します。また、PTAや地域の方の作品もおおぎり館に展示します。作品を作るだけでなく、人の作った作品を鑑賞することも展覧会のねらいの一つです。子供の作品のどこがよかったのか子供がどこを頑張ったのかなど話し合ってみてください。

最後になりますが、「食欲の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」など「〇〇の秋」といわれるほど過ごしやすい季節です。日頃できなかったことにチャレンジして、体や心のリフレッシュをしてほしいものです。

< 11月児童虐待防止推進月間 >

厚生労働省 一オレンジリボン運動—
平成29年度児童虐待標語
『いちはやく 知らせる勇気 つなぐ声』

今月のめあて

- 【生活】相手の気持ちを考えよう。【安全】身の回りの安全に気を付けて生活しよう。
- 【保健】体をきたえよう。 【給食】感謝の気持ちをもって食事をしよう。

